

第17回 ちゅうでん教育振興助成（平成29年度）

報告書資料 一般 - 100

学校名・団体名	周南市立三丘小学校
HPアドレス	<a href="https://www.fureai-cloud.jp/mitsuosho">https://www.fureai-cloud.jp/mitsuosho</a>
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	ふるさとに学ぶ ～地域と共にある学校作りの推進～
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・コミュニティスクールの利点を生かし地域住民と一緒に活動・体験することを通して、地域の伝統文化を学び、地域を大切にする思いを育てる。</li><li>・米作りやナスの栽培、森林体験学習、野外活動を通して、自然に学び、地元の自然環境をいつまでも守る心情を育てる。</li></ul>	

## <活動・研究報告>

### 【県指定無形民俗文化財「安田の糸あやつり人形芝居」への取組】

- 学年 第5学年 (8名)
- 指導者・協力団体
  - ・安田の糸あやつり人形芝居保存会「三和会」
  - ・財団法人阿波人形浄瑠璃振興会友和嘉会 竹本友和嘉 (澤田美紀)
- 活動内容
  - 5月 保存会の皆さんと顔合わせの会  
安田の糸あやつり人形芝居の歴史について  
役割(語り・三味線・人形あやつり)分担
  - 6月～10月 週2時間練習(保存会指導者8名)
  - 7月 隣接校の放課後子ども教室で初披露
  - 8月 阿波人形浄瑠璃振興会 竹本友和嘉先生による特別練習(2日間)
  - 9月 徳地伝統芸能祭で交流する山口市立中央小学校児童とインターネット上の掲示板で交流開始
  - 10月 やまぐち徳地伝統芸能祭出演  
山口市立中央小学校児童との交流会
  - 11月 学校バザーにおいて、地域・保護者への成果発表会
  - 2月 保存会の方への感謝の会及び新5年生への引継ぎの会
  - 4月 地元「桜祭り」での発表



### 【農業・林業体験への取組】

- 学年
  - 米作り 全学年 (46名)
  - ナス栽培 第3学年 (4名)
  - サツマイモ栽培 第1・2学年 (15名)
  - 大豆栽培 第1・2学年 (15名)
  - 花壇作り 全学年 (46名)
  - 林業体験学習 第6学年 (9名)
- 指導者・協力団体
  - ・農事団体「下郷法人」(米作り・サツマイモ栽培・大豆栽培)
  - ・田村哲夫(ナス栽培)
  - ・光市森林組合(林業体験)
  - ・ほっと三丘コミュニティ協議会(花壇作り)
- 活動内容
  - 4月 花壇作り 地域の方の力で、花壇の新設を行った。
  - 5月 田植え  
花の苗植え
  - 6月 ナス畑作り・苗植え  
サツマイモ苗植え  
大豆種まき
  - 7月 ナス収穫(～10月)
  - 10月 サツマイモ収穫 収穫祭(焼き芋)
  - 11月 稲刈り 餅つき  
大豆収穫  
冬・春の花の苗植え
  - 12月 林業体験 竹の花入れ作り  
しめ縄飾り作り
  - 2月 豆腐作り体験



### <体験活動による成果>

10年前から始まった人形浄瑠璃の伝承活動は、本校の特色ある教育と位置づけられる。毎回10名近くの保存会の方が指導に来られるおかげで、3か月で人前で発表ができるくらいになった。たくさんの方に見てもらえることで、自己肯定感も上がり、後を引き継ぐものとしての意識も高まったようだ。また、同じような伝統文化の継承活動をしている山口市の小学校と交流することもでき、お互いの苦労なども共

有できたようだ。

農業・林業体験では、多くの地域の方に関わっていただき、いろいろな作物を栽培し地域の特色を学ぶことができた。特に、ナスの栽培は、この地域の特産品でもあるので、子供たちの意識を大きく向上させたと感じる。ナスについては、子供たちの発想から「ナスジャム」が商品化された。また、本校には学校林があり、毎年、その手入れを保護者、地域で行っている。林業体験はその一環で、農業体験同様、この地域の大事な産業に触れることができる良い機会となった。

これらの活動を通し、子供たちは、自分も地域を支える住民の一人であるという意識を強く持つことができた。また、地域の方にとっても、学校での活動が自分たちの生きがい、やりがいとして定着しつつあると感じることができた。

## 【地域・保護者への情報発信への取組：学校 HP】

### ○目的

保護者や地域への情報発信を行うことで、保護者・地域とつながり、地域の学校としての意識を高める。

### ○取組の経緯

4月に行ったPTA総会でアンケートをとったところ、学校ホームページを見たことがある保護者は数人程度であり、ほとんどの保護者にはその存在すら知られていなかった。そこで、ちゅうでん教育振興財団からの助成金を活用し、学校ホームページを完全リニューアルすることにした。

### ○新しい学校ホームページを構築する上での基本的な考え方

①できるだけ毎日更新する。

②全職員でホームページの作成にかかわる。

このため、学校ホームページのシステムをできるだけ簡単に操作できるものに移行した。

### ○利用システム

「ふれあい通信」(JR四国コミュニケーションウェア)

### ○学校HPの主な内容

- ・今日の出来事：その日にあった出来事を写真と文字でタイムリーに掲載。また、修学旅行や社会見学等の校外学習では、その見学地等からライブ感覚で情報を配信。
- ・今日の給食：食育の一環として、毎日の給食をできるだけ早い時間に献立名と写真で配信。
- ・三丘っ子のページ：ページにパスワードを設定し、名札などから個人が特定される恐れがある場合にはこのページに掲載し配信。  
※他にも「PTAの部屋」「学校だより・保健だより」等も配信している。

### ○取組の効果

5月中旬にリニューアルして、ほとんど毎日、子供たちの様子を配信してきた。「ホームページで見ましたよ。」「学校の様子がよく分かって良い。」「行事が早めに分かり、お手伝いに行く計画を立てることができる。」という声が保護者や地域からたくさん届くようになってきた。

☆学校HPのアクセス総数5011件

(5月15日～2月4日) 家庭数35件

